

田中議員は12月議会の代表質問で、老朽化した学校の修繕は放置しながら、新市民会館に莫大な税金をつぎ込む高橋市政を批判しました。



市内の学校を視察する田中まさき議員



新市民会館

校舎ボロボロ

修繕費・全48校で4300万円
1校わずか90万円



一方、市内小中学校からは子ども達のいのちと安全に関わる修繕要望が5年で1420項目も出されていますが、その7割は改善されないままです。これでは児童生徒に対し、『新市民会館をつくってやるから、危険な学校でがまん

総額360億円
今年度81億円

ムダづかい

高橋市長は、新市民会館の運営に(株)コンベンションリンクエージ(本社・東京)を選定し、6年間で17億3630万円の管理料を払う議案と、水戸芸術館東側駐車場の建設(総額16億円)の工事契約を12月議会に提案しました。

借金は子ども達に

総額360億円にのぼる新市民会館。そのうち借金は約190億円まで膨らみ、長期にわたり毎年10億円以上の借金返済が財政を圧迫します。



今年度の学校修繕予算4300万円と比べて新市民会館予算は81億円で、190倍です。児童生徒のいのちや安全に関わる学校の修繕こそ優先すべきです。

新市民会館予算

学校修繕予算の190倍

- 屋上フェンスの土台に亀裂があり落下の可能性がある
- 老朽化で窓が外れた
- 外壁が傾斜し、倒壊のおそれあり
- 防火シャッターが作動しない
- ガス探知機が故障したまま
- 配膳室の雨漏りで衛生状態が懸念
- 配膳室の前の床がうねっている
- 緊急時に使えるインターホンの設置をもとめる

小中学校から市に毎年提出される「工事・修繕要望書」より抜粋

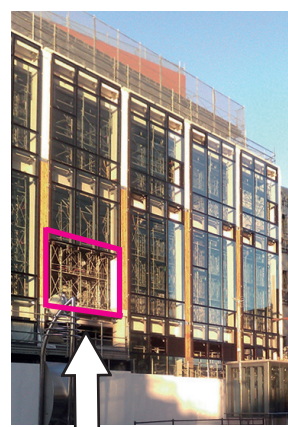
現在、水戸地裁では新市民会館建設計画への税金支出差し止めを求める住民訴訟が行われています。現計画はただちに中止・見直しをすべきです。

年間管理料	熊本城ホール	0円
	沖縄コンベンションセンター	0円
	水戸市・新市民会館	3億2000万円

他ではゼロ円で受注

新市民会館の運営を行う会社は、熊本市や那覇市では自治体からの管理料は無料で施設運営を受注しています。田中議員は「水戸市はなぜ年間3億2千万円も払うのか。赤字の場合は管理料を追加して払うなど、到底認められない」と主張しました。

上空通路5億4千万円



上空通路のつなぎ口(新市民会館側)

市は新市民会館と京成百貨店の2階を結ぶ上空通路を5億4千万円もかけて建設します。京成百貨店の負担はゼロ、市民には必要のない通路です。土田議員は一般質問で、「笠原小の増築や酒門小の長寿命化工事費よりも多い予算だ」と主張、建設中止を求めました。

新型コロナ 第6波 対策拡充求める

中庭議員は一般質問で「オミクロン株」の急激な拡大に備えて、3回目のワクチン接種の前倒し、早期発見のため無料PCR検査の実施、自宅

療養者をなくすため入院病床と宿泊療養施設の確保を求めました。保健医療部長は「無料検査は県が実施する」と答弁しました。

安全な通学路へ

全会一致で意見書可決

水戸市内には通学路の危険箇所が255か所もありますが、予算がないという理由で改善されていない場所が多く残されています。日本共産党水戸市議団は12月議会で、危険な通学路をなくすために「安全対策に国が継続的に十分な財政措置を講じるよう強く要望する」との意見書を提案し、全会一致で可決されました。



田中まさき
議員



土田きよみ
議員



中庭次男
議員

日本共産党水戸市議団

ヤツパリ無理！ 知事も認めるズサンな避難計画

刑務所よりひどい避難所

東海第2原発事故の広域避難計画について、田中議員は9月議会で「避難者1人あたり2㎡では、刑務所よりひどい」と指摘しました。

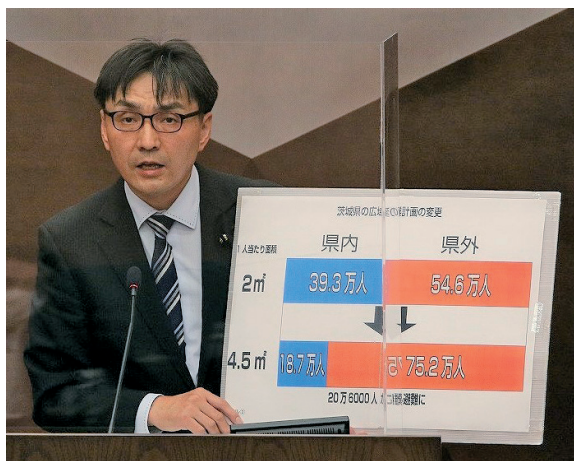
県や市が策定中の避難計画は、足の踏み場も通路もなく、階段やトイレまで避難面積に加えるお粗末な計画となっています。ウイルス感染が広がれば、クラスターの温床となることは確実です。

江尻かな県議が県議会で「人権を無視し、感染拡大を招く」と批判、田中議員はそれをうけて「市民を刑務所雑居房の半分以下の面積に押し込めるのか」と追及。

知事もついに「1人あたりの避難所面積を広げる」と表明し、1人あたり3㎡から4.5㎡を確保する案を市町村に示しました。

患者・入所者の避難手段なし

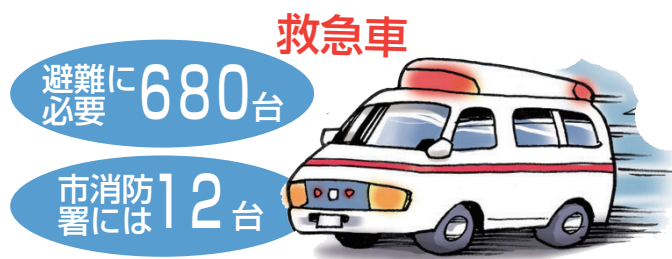
水戸市が県の避難所面積の見直しをうければ、避難先が県内外40自治体もある計画はすべて御破算、ゼロからのやり直しが迫られています。田中議員は「水戸市内の入院ベッド数は3400床。2割が救急車を使う場合でも680台が必要。しかし、市消防本部が所有するのは12台だけ。バスも福祉車両の調達も、到底まかなえない」と指摘しました。



代表質問する田中まさき議員（12/13）

「実効性」の確保は不可能

市長は「実効性のある避難計画と言うためには、全ての市民が安心して避難できる計画」であり「全ての医療機関や福祉施設で避難計画が策定される必要がある」と答えました。田中議員は「感染症対策に必要な輸送車両や、入院患者や施設入所者の移送手段も確保できておらず、実効性ある避難計画などできるわけがない」と主張しました。



試運転＝再稼働は論外

避難計画の見直しさえ立たないのに、日本原電は1年後に東海第2原発の再稼働を強行しようとしています。

田中議員は「原電は試運転というが燃料棒を挿入し臨界に達すれば、まぎれもない再稼働だ。市長は今すぐ再稼働反対を表明すべき」と主張。高橋市長は「試運転であっても原子炉を動かすことは再稼働だ」と認めながら、再稼働反対は表明しませんでした。

田中議員は「一企業のために、市民27万人の命を危険にさらすなど、あってはならない」と主張しました。

東海第2の工事作業員

原電下請けを刑事告発

昨年10月、東海第2で働く工事作業員が日本原電の下請け会社による診断書偽造を刑事告発しました。

再稼働を進めるためならば、現場の労働者のいのちも健康もおかまひなし。病院の印鑑も診断書も平気で偽造する下請けと、それを見逃す日本原電です。

こんな企業に危険な原発を動かす資格がないことは明らかです。

土田議員は一般質問で、内原地域の悪臭問題や渡里小前の環境問題、大塚池公園の整備について質問し、市民生活の安心・安全への改善を求めました。

トイレ・園路が老朽化



大塚池を周回する約2.6キロの園路はジョギングやウォーキングで多くの市民に利用され、白鳥も飛来する地域のシンボルですが、施設の老朽化が進んでいます。土田議員は、大塚池公園の3か所のトイレに電気を設



土田きよみ議員

大塚池公園 整備求める

「改修を進める」と答弁
都市計画部長は「トイレは築38年経過し老朽化が進み室内灯もない。利用頻度の高いトイレから年次的な改修を検討する。園路の改修は国の補助金を活用しながら、年次的な維持補修に努めていく」と答弁しました。



中庭次男議員

補聴器購入に補助を

加齢性難聴

中庭議員は一般質問で、難聴となった高齢者が補聴器を購入する場合に市が補助するよう求めました。

高齢者の6割が難聴
「補聴器が高い！」
水戸市では介護認定の際の聴覚検査で、6割の高齢者が難聴と判断されています。国際アルツハイマー協会も「難聴は認知症の最大の危険因子」と指摘しています。しかし、補聴器は片耳で25万円など高額なため購入できない高齢者が多くいます。東京都内では14の区で3万

市は4月からの国保税を大幅に値上げしようとしています。国保税の算定を3方式（所得割・均等割・平等割）から2方式（所得割・均等割）に変更することで、家族の多い世帯ほど値上げ幅が大きくなりま

国保税 4月からの大幅値上げ中止を

陳情を全会一致で採択
年金者組合水戸支部は、水戸市議会に「加齢性難聴者の補聴器購入費に公的助成を求める陳情書を提出。12月議会で全会一致で趣旨採択されました。」

無料法律相談

2月19日(土)
3月19日(土)
4月16日(土)
午後1時から

どんな問題でもお気軽にご相談ください。
場所：水戸市白梅3-13-8 共同ビル1階

☎029(221)7441
主催：日本共産党水戸市議団